

科目名 Course Name	家族論 Life- Span Developmental Psychology				ナンバリング No.	A2-003		
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義	
担当者氏名	秋山 真奈美							
連絡先(質問等)	講義棟 3 階研究室か C-Learning で対応。オフィスアワーは月・木・土・授業時間を除くものとする。							
必修／選択	選択							
関連 DP	DP1,DP2							
授業の概要と 到達目標	我々個人が発達するだけでなく、家族及び家族関係、家族システムもまた生涯を通じて、発達変容をし続ける。本講義では、心理学の知見を用いて、受講者諸君が家族の在り方について考えるための提言をしていく。 従って到達目標としては、 ①家族の発達過程を理解し、説明できるようにする。 ②家族機能の変化とその関連要因について説明できるようにする。 ③家族をめぐる様々な問題と、それに対する介入の実践的知識を得て、基本的対応行動を採れるようにする。							
授業の方法	主に講義形式で行うが、しばしばアクティヴ・ラーニングを主眼としたワークやディスカッションも挿入される。期末考査はペーパーテストで行う。							
学習成果	L01	自分の家族のことだけでなく、社会問題としての家族問題に関心を持ち、考察することができる。						
	L02	支援を必要とする家族に対し、適切な対応ができるようになる。						
	L03							
	L04							
課題に対する フィードバック	小レポートのみ、添削の上返却する。課題としてのフィードバックの機会はそれくらいだが、日頃より積極的な質問を歓迎する。							
教科書／ 参考図書	教科書は特に使用しないが、参考書として「子ども家庭支援の心理学」本郷一夫・神谷哲司〔編〕(建帛社)は有用である。							
履修上の留意点 やルール等	私語・居眠り・授業に無関係の行動・不参加は「授業参加態度」において減点の対象とする。小レポート課題は原則として翌週提出すること。事前・事後学習時間の目安は各回 180 分相当とする。							
担当教員の実務 経験								
成績評価の方法と基準								
評価の領域	評価基準				学習成果の割合			
					L01	L02	L03	L04
授業参加態度	他者の話に真剣に耳を傾け、また、積極的にディスカッション・グループワークに参加し、講義や発表への疑問については臆さず質問すること。				20			
レポート／作品	生涯学習に関し、個人としてどのように実現を図るか、将来を見据えてレポートすること(総合:30%)。この他に、ディスカッションやワークに関する小レポート課題(計 20%)を課す。借り物の意見ではなく、自分の経験に基づく意見が記述されていること。				20	30		
発表								
小テスト								
試験	多問型と記述型を組み合わせた期末試験を実施する(自筆ノート持ち込み可)。エビデンスに基づいた論述となっていること。誤字・脱字が無いこと。自分の意見が論理的に記述されていること。				10	20		
その他								
合 計					50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション:授業の方法と計画の説明「家庭の生涯発達」とは何か、戸籍とは
	事前・事後学習	事後学習と次回事前学習を兼ね、人生100年時代のライフキャリアマップを作成する。
2	授業内容	家庭の形成と発達変容:結婚・妊娠・出産・離婚・個人の自立にまつわる問題
	事前・事後学習	授業内容に関連する新聞記事等を参照し、現代家庭の社会的現状をノートにまとめる。
3	授業内容	家族と家庭:育児の問題 女性の育児・男性の育児
	事前・事後学習	授業内容に関連する新聞記事等を参照し、現代家庭の社会的現状をノートにまとめる。
4	授業内容	家族と家庭:介護の問題 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況 多様な家庭とその理解
	事前・事後学習	授業内容に関連する新聞記事等を参照し、現代家庭の社会的現状をノートにまとめる。
5	授業内容	家族と家庭:家族をめぐる問題 虐待 家庭内暴力 ヤングケアラー 養子縁組
	事前・事後学習	授業内容に関連する新聞記事等を参照し、現代家庭の社会的現状をノートにまとめる。
6	授業内容	家族と家庭:家庭の意義と機能 親子関係・家族関係の理解
	事前・事後学習	授業内容に関連する新聞記事等を参照し、現代家庭の社会的現状をノートにまとめる。
7	授業内容	変化の中で生き抜く:自分や家族に非常事態が発生する時
	事前・事後学習	現人生設計にアクシデントが発生した場合のセカンドプランを作成する。
8	授業内容	標準的家庭・標準的人生とは存在するのか ジェンダー・アイデンティティとキャリア発達 ワークライフバランスを考える
	事前・事後学習	身近なジェンダーギャップを見つけ、どういふあり方が好ましいかを考え、ノートに書く。
9	授業内容	多文化共生社会における家庭:多文化家庭の増加と共生
	事前・事後学習	事前学習として、これまでの実習で遇った多文化家庭の事例をまとめておく。(→授業内で報告する。)
10	授業内容	心理学を人生や家族との人間関係に活用する:アドラー心理学(1) 認知の理解と変容 共同体感覚
	事前・事後学習	アドラー理論を参考にして、自分の日常生活のあり方を省みる。
11	授業内容	心理学を人生や家族との人間関係に活用する:アドラー心理学(2) 目的論と勇気づけ ライフスタイル分析
	事前・事後学習	アドラー理論を参考にして、自分の日常生活のあり方を省み、ノートに書き出す。
12	授業内容	心理学を人生や家族との人間関係に活用する:アドラー心理学(3) 実践編
	事前・事後学習	ワークの結果を参照し、小レポートを作成する。
13	授業内容	心理学を人生や家族との人間関係に活用する:アドラー心理学(4) 実践編
	事前・事後学習	ワークの結果を参照し、小レポートを作成する。
14	授業内容	自分の家族史を振り返る 自分の家族を語る 自分の家族を再確認する
	事前・事後学習	事前学習として初回に書いたライフキャリアマップを再確認する。事後学習として総合レポートを作成する。今回ワークの内容は総合レポートに含める。
15	授業内容	まとめ:自分の人生をどう構築するか、他者の人生をどう支えるか 転機の意味 [総合レポート提出]
	事前・事後学習	これまでの授業内容をまとめ直し、期末考査に臨む。